

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成2年度 研究業務状況

(1) 二部門以上共通

- 1 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業（担当：全員）
- 2 ラオス文化と沖縄文化の比較研究のための予備調査（担当：内田るり子教授）
- 3 「日本民謡大観（奄美・沖縄）」の執筆（担当：波照間永吉助教授・金城厚助教授）

(2) 芸術・文化学部門

- 1 地域文化の調査研究（担当：波照間永吉助教授）
 - A 南島歌謡語の研究 石垣市4集落
" 小浜島・与那国島（芸大財団の助成研究）
 - B 沖縄の神歌の調査研究
- 2 南島歌謡の研究（担当：波照間永吉助教授）
- 3 「沖縄古語辞典」の執筆（担当：加治工真市教授・波照間永吉助教授）
- 4 八重山方言辞典作成のための調査研究（担当：加治工真市教授）
- 5 沖縄文化と日本文化の比較文化的研究（担当：ホルスト・S・ヘンネマン教授）

(3) 伝統工芸部門

- 1 平成2年度公開講座の開講（担当：柳悦州講師）
- 2 沖縄織物の技法的研究（担当：柳悦州講師）
- 3 絹の劣化に関する調査研究（担当：柳悦州講師）（芸大財団の助成研

沖縄県立芸術大学附属研究所彙報

I 平成2年度 研究業務状況

(1) 二部門以上共通

- 1 沖縄伝統文化・芸術に関するデータベース作成のための基礎作業〔担当：全員〕
- 2 ラオス文化と沖縄文化の比較研究のための予備調査〔担当：内田るり子教授〕
- 3 「日本民謡大観（奄美・沖縄）」の執筆〔担当：波照間永吉助教授・金城厚助教授〕

(2) 芸術・文化学部門

- 1 地域文化の調査研究〔担当：波照間永吉助教授〕
 - A 南島歌謡語の研究 石垣市4集落
〃 小浜島・与那国島（芸大財団の助成研究）
 - B 沖縄の神歌の調査研究
- 2 南島歌謡の研究〔担当：波照間永吉助教授〕
- 3 「沖縄古語辞典」の執筆〔担当：加治工真市教授・波照間永吉助教授〕
- 4 八重山方言辞典作成のための調査研究〔担当：加治工真市教授〕
- 5 沖縄文化と日本文化の比較文化学的研究〔担当：ホルスト・S・ヘンネマン教授〕

(3) 伝統工芸部門

- 1 平成2年度公開講座の開講〔担当：柳悦州講師〕
- 2 沖縄織物の技法的研究〔担当：柳悦州講師〕
- 3 絹の劣化に関する調査研究〔担当：柳悦州講師〕（芸大財団の助成研

究)

- 4 韓国陶芸と沖縄陶芸の関係についての研究〔担当：大嶺實清教授・田里博助手〕

(4) 伝統芸能部門

- 1 琉球舞踊譜の作成のための研究〔担当：横道萬里雄教授〕
- 2 組踊基本演目の構造分析〔担当：横道萬里雄教授〕
- 3 平成3年度公開講座の準備〔担当：横道萬里雄教授〕
- 4 コーネル大学における民族音楽の共同研究〔担当：内田るり子教授〕
- 5 伊江島における民謡の調査研究〔担当：久万田晋講師〕

Ⅱ 主要研究業績 平成2.1～12

- ①：著書・編著 ②：論文 ③：解説・索引 ④：研究発表
⑤：講演・放送 ⑥：作品発表 ⑦：科学研究費研究 ⑧：その他

(1) 芸術・文化学部門

加治工真市（兼任教員）

- ②「鳩間方言—住関係語彙」『琉球の方言』15 法政大学沖縄文化研究所
平成2
- ⑤「うちな—ぐち講座」名護中央公民館 平成2.10.5～11.4（5回）
- ⑦重点領域研究「日本語音声における韻律的特徴の実態とその教育に関する総合的研究〈A4班〉琉球列島班における音声資料の収集と研究」代表：上村幸雄
交付額：800万円
- ⑧『方言を調べよう ⑨沖縄地方』福武書店 平成2
（小学生用の郷土学習資料として指導）

ホルスト. S. ヘンネマン (兼任教員)

- ① “Chasho. Geist und Geschichte der Theorien japanischer Teekunst”,
Fakultät für Ostasienwissenschaften, Ruhr-Universität Bochum,
1990
- ② “Shin, gyô, sô: Stil und Methode—Die Ästhetik der Teekunst des
‘Yamanoue no Sôji no ki’ und ‘Nampô-roku’”,
Aesthetics, Nr. 4, The Japanese Society for Aesthetics, The University
of Tokyo, 1990
- ④ “Zentralgewalt und Kunstgenie. Zum 400. Jahrestag der Hinrichtung
Sen no Rikyûs”,
2. Japanologentag, Deutsche Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde
Ostasiens, Tokyo, 8. III. 1990
- ④ “400. Todestag Sen no Rikyûs. Stadien einer Großmeisterkarriere
des ‘Yamanoue no Sôji no ki’ und das Teeheiligenbild des ‘Nampô
-roku’ zum 100. Todestag im Licht der biographischen Forschung
heute”,
8. Japanologentag, Universität Wien, 26. IX. 1990
- ④ “Geist- und Jenseitsvorstellungen in den omoro Okinawas und die
Problematik der Deutung des obotsu”,
Fakultät für Ostasienwissenschaften, Ruhr-Universität Bochum,
14. XI. 1990

波照間永吉 (専任教員)

- ① 『沖縄の神歌 沖縄の神歌伝承活動 (Ⅲ) 八重山諸島』 沖縄県教育委員会
平成 2. 3
- ① 『日本民謡大観 (奄美・沖縄) 宮古諸島篇』 日本放送出版協会 平成 2.
3
- ② 「竹富町西表島祖納のシチの神歌」 『沖縄の神歌 沖縄の神歌伝承活動Ⅲ
八重山諸島』 沖縄県教育委員会 平成 2. 3
- ② 「与那国島のマチリの神歌」 (森田孫栄氏と共同執筆) 同上書

- ②「聖空間ケオノウチをめぐる」『物語』創刊号 砂子屋書房 平成2.7
- ②「宮古来間島のヤーマスイプナカ―儀礼過程と歌謡―」『小野重朗先生傘
寿記念論文集 南西日本の歴史と民俗』第一書房 平成2.9
- ②「ウタの力とウタガケ」『八重山毎日新聞』平成2.6.8,9
- ②「“歌垣”を観て―アジア民族芸能祭を振り返る―」『琉球新報』平成2.
6.29
- ②「沖縄のまつり―時空間の流れの中で―」『沖縄タイムス』平成2.11.6
- ③「オモロ反復句索引<末尾句引き>」『沖縄芸術の科学』3 平成2.3

(2) 伝統工芸部門

大嶺 實清 (兼任教員)

- ⑥個展 ギャラリー大村 (秋田県) 平成2.9
- ⑦国際学術研究「琉韓伝承文化の比較研究」 研究代表者：大嶺實清 交付
額：500万円
- ⑧韓国ウルサンにおいて、陶器の制作・焼成研究を行う。

柳 悦州 (専任教員)

- ⑥「経ずらし絣着物」第64回国展 東京都立美術館 平成2.4
- ⑧公開講座「沖縄織物技法の展開 経ずらし絣の紹介」講義 平成2.10~11
- ⑧研究課題「絹の劣化に対する湿度と紫外線の影響に対して」沖縄県立芸術大
学振興財団より助成金を受け研究

田里 博 (兼任教員)

- ⑥「積展」ギャラリー1956 平成2.11.27~12.2 (奥田実、片岡淳、赤嶺喜
雄、田里博)
- ⑦国際学術研究「琉韓伝承文化の比較研究」 研究代表者：大嶺實清 交付
額：500万円

(3) 伝統芸能部門

横道萬里雄（専任教員）

- ①『能の囃子事』（共著）音楽之友社 平成2.5
- ②「琉球芸能研究便覧（その二）」『沖縄芸術の科学』3 平成2.3
- ③「万之丞君のあれこれ」『野村万之丞還暦記念講演パンフレット』平成2.9
- ⑥制作・演出「声明曲三題」 清雪忌演唱 平成2.12
- ⑦総合研究「平家琵琶の総合的研究」研究代表者：上参郷祐康 平成2年度

内田るり子（兼任教員）

- ⑤公開講演「北部タイ少数民族の歌謡 — 伝統と変容 —」日本歌謡学会春期大会 平成2.5.12
- ⑤講演「アジアの中にみる沖縄の音楽」沖縄芸能史研究会第15回研究発表会 平成2.7.7
- ⑧「日本民謡大観（奄美・沖縄）の宮古諸島篇に寄せて」『琉球新報』（文化欄）平成2.12.1
- ⑧主催・解説「瑠璃の会」第23回演奏会 東京・朝日生命ホール 平成2.12.13
- ⑧「タイ国の少数民族の歌垣」『自然と文化』29 平成2.6.15

金城 厚（兼任教員）

- ②「琉球音階再考」『東洋音楽研究』55 平成2.8
- ④「歌詞音列法による追分節の比較」世界追分祭国際民族音楽シンポジウム 北海道江差町・江差追分会館 平成2.9.14
- ④「もうひとつの琉球音階 — 古典音楽の終止音から —」東洋音楽学会沖縄地区第一回定例研究会 那覇市・沖縄県立芸術大学 平成2.10.20
- ④「リズム様式の地域性」シンポジウム・日本人とその文化の地域性 東京都・岩波書店セミナールーム 平成2.12.9
- ④「王府オモロ唱法の源流と地方ウムイ唱法 — 神歌における長ブシ —」沖縄芸能史研究会第166回月例研究会 那覇市・那覇市教育委員会ビル 平

成 2.12.19

- ⑦奨励研究A「歌詞音列法 コンピュータを使用した、民謡の旋律比較・検索方法の開発」研究代表者：金城厚 交付額：90万円
- ⑧調査報告「獅子舞の囃子」『戸田市の民族芸能Ⅱ 下戸田ささら獅子舞』埼玉県戸田市立郷土博物館 平成2.3